



# 町制施行20周年 《記念特集号》



第68号  
発行所 大洗町役場  
発行人 藤村清  
印刷所 富士オフセット印刷機  
〒水戸(31)4241

## 二十年の風雪と 新しい夜明け

町長 加藤 清



時は流れる。昨日は過去となり明日になれば今日も亦過去である。私達は過去の蓄積に立って今日を迎えているが、私達の周辺にもいつのまにか二十年という歳月が流れた。昭和二十九年十一月三日、それは私達町民にとって忘れ得ざる日である。何となればその日に私達の町が誕生したからだ。古い衣を脱ぎ捨て、新しい装いを身にまといながら、私達は遙か前方に輝やく希望の光をみつめながら、未来への姿に心を躍らせたものである。しかしそれは同時に果てしなく続くいばらの道への第一歩でもあった。或る晴れた秋の日の、私は現在築きつゝある新港の南防波堤上へ立った。太平洋の蒼い波のうねりが静かなリズムを奏で、時々砕ける白い波がしがらみ、やさしい潮騒を伝える時、私の回想は昭和三十六年春から秋へかけての思つまるような緊迫した情景がよみがえってくる。思えば私達は大正の初期挫折した先輩の遺志を引きつぎ、新しく誕生した町建設の中核として打ち出した大洗港建設へかけた悲願と、日本で二番目のアイントロップを利用した三年間に及ぶ漂砂調査の結果と、町を

挙げての運動とが実を結び、三十二年秋起工式が予定されたその年の春であった。大洗港は鹿島港のような大資本家による工業開発と根本的に異なり、全く自力による地元産業のための建設であった。特にむすかしかつたのは船曳場へ建設する港であったからである。水い間平和に生活しておいた漁業者にとりて、曳場の移動は大変な出来事であった。然し遂に九月起工式を前にして明神町の水産地区、平太郎地区の漁船は思いきって遠くさらし地区、現在のビーチパレスの下へ大移動をした。その朝今は小沼市太郎副組合長からの報告を聞き深く感動したことを覚えている。而し、東防波堤と南防波堤の建設が進んで、移動した船が元の場所へ帰って来る迄は不安の連続であった。遂に或る夜半、台風のためさらし地区に移動した船三十隻が大波にさらわれ危険に陥った。急拠勝田の自衛隊に支援出動を要請し、大隊長の指揮する一箇大隊が全力を挙げて砂山を築き、夜明けになって漸く危機を脱することが出来たことは忘れ得ざる思い出である。こうした危機感は何々である。最近では大洗高校建設の過程で深刻な経験をした。大洗高校誘致のため期成会が結成されたのは四十六年十二月であったが、これ亦磯浜町時代からの懸案であり、大洗町民にとっては二十年来の宿願であった。私達は四十七年三月の県議会決議を目ざして運動に入り、土地も地主との協議で決定したが、四十七年度の議決はむすかしく、四十八年度になる可能性が強くなった。そうすると土地取得は一年延ばさなければならぬ。何故なら公共用地故税金はかゝらぬということの説明しておいたからである。茲で代金を払えば税金がかかる。然しそれだからと云って、地主との間の決定を延ばすわけには行かぬ。何千万円という税金は大変である。此の時ほど困難な立場に立たされたことはなかった。最後には税務署の懇切な指導によって危機を切り抜けたが、亦四十八年度に県議会で決定されなければ大変である。私は四十七年二月、期成会の総会で「若し四十八年度に決定されな

ければどうするか」という質問を受けた。私はその時「若し県議決されなければ自分が政治的責任をとる」とはっきり言明した。当時私はそういう決意で対処したのである。その後四十八年議決、四十九年度開校と軌道に乗ったが、第一線に立つリーダーマンの進退は常に紙一重である。何時断崖から転落するかも知れない。亦そういう事で首長は常に孤独であると思われているのではないだろうか。それにしても私達が地域づくりを進めて行く場合、絶えずその推進力となり、基盤となるのはその背後にある町民の力であるということをしみじみと感じている。それは全国二番目につく現在の防音庁舎の運動のため、議会と一緒に防音庁舎に行った時のことである。幾度かの運動で大体補助のつく見通しがついた時事業部長から「自分も大洗の古い庁舎は行ったことがあるのでよく知っているが、学校が先であるというので、町民はよく我慢していただきましたね、そのために私達は出来るだけ協力しなければならぬでしょう」と云われ、私達の真心が通じたと思つて涙の出るほどうれしかった。ふと私は回想から覚めて、さわやかな潮風に吹かれながら、遙か夏海台上に立つ赤と白の原研観測塔と高速実験炉の白いドームを目をやって、先日大洗工学センターへ天皇、皇后両陛下が御出になり、日本で初めての高速実験炉の現況を御視察になられた。建設は順調に進んでいるようである。よそぞろ風雪を乗り越えて来た二十年の歳月よ、然し私達は感傷ばかりひたつておられない。今大洗の朝は徐々に高く盛り上り、私達は新しい夜明けを迎えんとしているからである。八月中旬北海道から長谷川室蘭市長が来訪された。室蘭と大洗の基地を中心に、交流を図ろうというためである。胸襟を開いて談話した。首都から近く然も交通条件に恵まれている当町の地形を視て有益な示唆を与えられた。私も今後三年前から企画室を中心にワーキング・グループをつくらせて研究を進めているからである。即ち地場

産である農産物と水産物の食糧を中心とした流通経済の基地をつくることと、町民と観光客のための近代的なレクリエーションの施設をつくらせて地元メリットを図ることは、これからの大洗港の整備を図って行く上での大きな柱であるからである。そのためのフェリー基地建設はその一環になるであろう。波濤万里というけれど、人と物の交流が、一万トンの船により、二十時間足らずの時間で実現出来れば陸上に比べて遙かに有利となる筈である。農業や水産業や商業や観光やそういう地元で持っている生活の支柱にプラスする価値をつくるため私達は勇気を出さなければならぬ。それから一つ基盤整備の大きな拠点となる鹿島線、現在少しおくれいているが、それはこういう事情である。現在実施している区画整理の中の予定されている大洗ステーションの敷地内に文化財、つまり数々の遺蹟のあることが、予備調査で判った。そういう時は建設を始める前に出来るだけ発掘調査をするということが、文化庁と鉄道建設公団との間で覚書が交付されているのである。そのため発掘調査の規模や方法等が現在公団と県と町とで協議している次第である。何しろ費用もかかるし人員も準備せねばならないが出来るだけ早く結論を出して進めないと鉄道の建設にも影響する。それにしても私達の町は全町至る処遺蹟あり、開発のむすかしさをしみじみと感じている。大洗高校建設の際も勝田の自衛隊に整地を依頼してから初めて遺蹟の存在が判り、慌てて調査に入ったが古代住居址五十数箇所が発掘され、その一部は緑地帯として永久に保存することになった。これからの開発に当たっては先ずこのことを念頭におかなければならぬ。思えば吹上と云い、長峰と云い、或は鏡塚、車塚と云い、私達の町は三千年の昔から住みよい地域であったに違いない。私も何年前か前図らずも南中の屋上に立つたことがあった。たまたまそれは秋の十五夜満月の夕べであったと記憶している。紫紺の空に張りついたような金色の月、太平洋のさざ波を細かく砕いて流れ散る光、

## ごあいさつ

田山 勇之助  
議長



十年の歳月の間、町民の皆さまの深いご理解とご協力によりまして各種産業の振興と健康で文化的な環境づくりの施策が積極的に進められ、多大の成果をおさめ町村合併の持つ使命を遺憾なく発揮してまいりました。ご同慶の至りに存じます。最近における本町をとりまく諸情勢は、社会経済の動向とともに急速な変貌を遂げており、町議会としても行政推進に最善の努力を傾注してまいります。ここに、大洗町の前途を祝福するとともに、町民各位のご健勝をお祈りしてお祝いのご挨拶を申し上げます。

大洗町誕生二十周年の記念すべき日を迎えるにあたりまして、ひとこと、ごあいさつ申し上げます。

わたしたちの町は、昭和二十九年磯浜町、大貫町の合併により新生大洗町が発足、同三十二年夏海地区が編入され現在に至っているものでありまして、二

遙かに酒沼と筑波を望み、天地寂として声なく、清涼な空気を肌感しながらこんな景観は滅多にないであろうと思つた。古い文化と新しい文化の共存する私達の町、海と川と湖のある私達の地域、私達はこうした遺産を受けつぎ、大洗という風土の中で生れ住み一生を終ろうとしている。二十年という歳月を或る考え方によっては永い亦別な考え方によっては短かい。一体これからどうなるであろうか。とにかく私達は今迄幾つかの危機を、一致団結の力で乗り切つて来た。或いは運がよかつたのかも知らない。勿論今迄比較的うまく行つたから今後もうまく行くであろうとは思わない。しかしそれだからと云つて今後の難関を乗り切れないとも云えない。要は対処の姿勢であり情熱の如何ではなからうか。私達が生きると云うことは真剣であり、地域づくりに生きるきびしさ、地域づくりの苦しさには耐えられない者はその人自身情熱を失った者であり、そこに残るのは虚無と絶望だけであらう。私達の目標は一人一人の生命の充実感であり、生きがいの発見である。そして地域の豊かさであり、健全さである。然し豊かさであるとは云つてもそれは物の面だけでは、物が充足されればそれで事足りると云うものではない。若し人生の目的が物に対する欲望を満たすことであるとするならば、その地域、その社会はこうなつて行くであらうか。私は人間の喜びは物を獲得することだけではなく、自分の動きが人間社会に多少なりとも役立っているという信念を持つことであり、そして自分の持っている能力が最高度に発揮出来る環境、地域があるということであると思う。そうした価値観の確立される地域こそが健全な地域であると思う。私達の夢は限りなく広がる。夢を語るのは楽しい。然しそれが実現した時その喜びは倍加する。私達三万二千の町民は常に誕生の日の喜びを胸に抱き、若々しい血潮をたぎらせながら、これからも理想の灯を求めつゝ、前進を続けるであらう。

# 大洗バイパスの開通

昭和47年6月



▲時代のシンボル  
バイパスの通る  
前原地区

◀開ける前の前原  
地区

# 大洗町フォト特集

町の宿題

水都一平

おめでとう  
心から  
おめでとう

大洗町が

成人式を迎えました

木造の学校が

防音校舎になり

待望の高校が

西の丘に建ち

防波堤をめぐらせた

港が築かれ

松風の中の

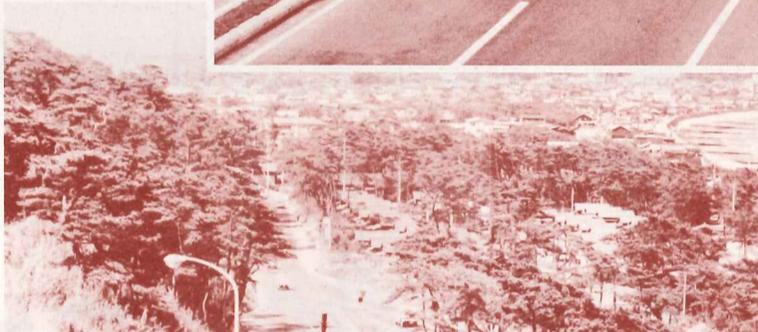
老人の憩の家にも拍

# の建設

起工 昭和36年11月



▲港のできる前



# 大洗町役場 新庁舎完成

昭和46年10月



▶偉容を誇る新庁舎



◀建ちならぶ港湾関連諸施設



▲現在の港の姿



◀新庁舎の建設  
地における地  
鎮祭

# 老人憩の家完成

昭和48年8月

◀緑の松に囲まれた  
老人憩の家



# 漁業



▲稚鯛の養殖にはげむ漁協のみなさん



▲温泉気分を満喫……旅～ゆけ～ば～



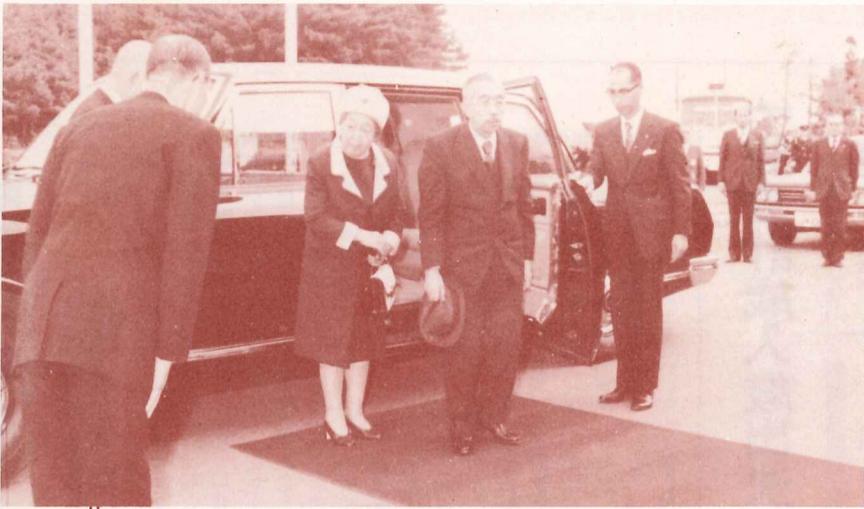
◀みんな元気に「あらイッサッサー」

# 原子力施設の誘致

日本原子力研究所大洗研究所

昭和42年4月

動力炉核燃料開発事業団大洗工学センター 昭和45年4月



▲天皇、皇后両陛下「動燃」をご視察(昭,49.10.21)

青い海の役場は  
 鷗が来れば更に美し  
 町中を  
 沸かせるような事件もなく  
 まことに  
 平穩無事な二十年でした  
 カーフェリーの  
 誘置もあろうと云うに  
 なのに  
 何か足りない  
 欲ばりなのか  
 我がままなのか  
 どうしても  
 何が足りないのです  
 誰か 教えてくれませんか

# 大洗商港

# 県立大洗高等学校の開設

昭和49年4月



▲進められる施設の拡大整備



▲活気あふれる港の賑わい



▲高校建設前の長峯地区



▲明るい快適な近代的校舎

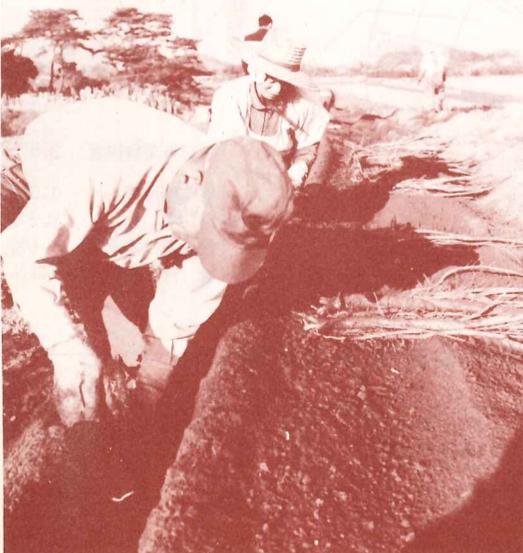


▲進行中の駅前通り  
(16米街路)

# 区画整理事業に着工

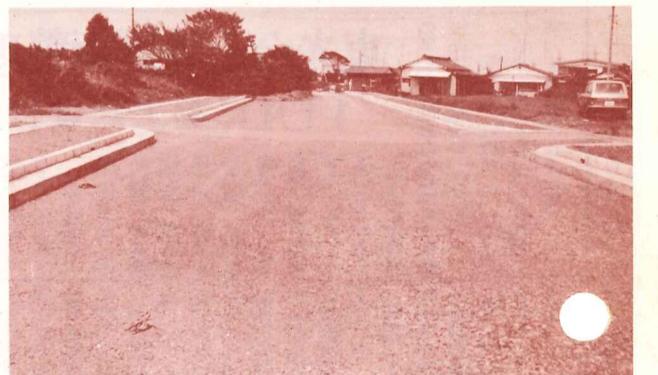
昭和48年10月

# 農業



◀午ぼうの手掘ご苦労さま

▼成果をあげる協同出荷



◀ 工事施行中の  
桜道地区







# 年金保険料の納め忘れはありませんか



### 古い未納分も 特別に納められます

年金は年齢によって保険料を納める期間がきまっています。普通25年以上です。この期間に1ヶ月でも納め忘れがあると将来年金が受けられなくなります。いま2年以上経過した古い保険料がさかのぼって納められます。期間は昭和50年12月末日までとなっています。納め忘れの保険料がありましたら、今すぐに年金係に相談して必ず納めましょう。

### 年金の届出は すみやかに

年金は各種の届出を必要とするものがあります。届出はすみやかに20才になったとき...資格取得の届  
○他の公的年金をやめたとき...資格取得の届  
○希望で加入するとき...資格取得の届  
○希望で加入するとき...資格取得の届  
○希望で加入するとき...資格取得の届

### 年金が九月から 引上げられます

★老齢福祉年金・年額六〇、〇〇〇円(月額五〇〇〇円)から年額七〇、〇〇〇円(月額五八三三円)に  
★障害年金2級・年額二四、〇〇〇円(月額二〇〇〇円)から年額二七、八〇〇円(月額二三二〇円)に  
★母子連帯年金・年額二四、〇〇〇円(月額二〇〇〇円)から年額二七、八〇〇円(月額二三二〇円)に  
★遺児年金・年額一四、〇〇〇円(月額一、一六六円七角)から年額一七、八〇〇円(月額一、四八三円五角)に  
★寡婦年金(二〇〇一年)・年額四八、〇〇〇円(月額四、〇〇〇円)から年額五二、八〇〇円(月額四、四〇〇円)に

### 年金の届出は すみやかに

★老齢福祉年金・年額六〇、〇〇〇円(月額五〇〇〇円)から年額七〇、〇〇〇円(月額五八三三円)に  
★障害年金2級・年額二四、〇〇〇円(月額二〇〇〇円)から年額二七、八〇〇円(月額二三二〇円)に  
★母子連帯年金・年額二四、〇〇〇円(月額二〇〇〇円)から年額二七、八〇〇円(月額二三二〇円)に  
★遺児年金・年額一四、〇〇〇円(月額一、一六六円七角)から年額一七、八〇〇円(月額一、四八三円五角)に  
★寡婦年金(二〇〇一年)・年額四八、〇〇〇円(月額四、〇〇〇円)から年額五二、八〇〇円(月額四、四〇〇円)に

## 来年は百歳を迎えるおばあさん 町に九十歳以上は十九人

加藤町長は去る九月十四日、町内七人の高齢者を訪問して、元気な様子を見せ近況をお伺いしました。

大洗町の最高齢者は、磯浜釜釜町の江沢はつさん(九十九歳)で十二月には「百寿」の祝いを迎えられることですが、目も耳も口も非常に達者であり、町長と楽しく懇談でき、昔の魚行商の苦労話、耳がきくから私の前で



## お年寄りの楽しい一日 敬老会

去る九月十五日ビーチパレスに七十歳以上の方一、三〇〇名をお招きして恒例の敬老会を開催し長寿をお祝いしました。

開会の十時には、会場は超満員となり、主催者加藤町長よりお祝いのことばと、高齢者の現況について話がありました。続いて、敬老者を代表して、釜釜町の田山藤吉さん(九十四歳)に記念品と敬老祝金の贈呈、小幡県議会議長より記念品贈呈があり、来賓の祝辞をいただき式はほどおひやく終了しました。

十時半からは、町内有志の方々によるお楽しみ演芸についで、磯浜、網のしりなど耳なじみの民謡、踊りをはじめ可愛らしい子供達による日本舞踊が次々と繰り広げられ、皆さんは時のたつのを忘れ楽しい一日を過ごされました。



## 海をよごれから守る 海底の清掃作戦を実施

去る9月23日の秋分の日、百隻を超える大洗漁協と磯浜漁協の所属漁船が、一斉に繰り出し、掃海作戦に参事しました。この事業は茨城県が事業主体となっており北は平潟から南は岐波に至る茨城県の海をきれいにするという、地元漁協の母体である海をこの様に守るという目的で行なうものです。本町では大洗漁協の90隻と磯浜漁協の12隻の底びき網漁船が参加して、

## 水道 PCタンク完成

水道第二拡張事業の一つとして建設を進めてまいりましたPCタンクがこのほど立派に竣工しました。

PCタンクは有効容量五千トンの調整水槽です。増えつつある水需要に対処するため水道事務所に用地を確保しつくられたものです。

この水道施設の完成により夏季最盛期はもとより年間を通して効率的に安定した給水を行うことができるようになります。

なお本工事につきましては周辺住民の皆様はじめ関係者各位の多大のご協力を頂き、ここに厚く御礼申し上げます。

## 善意の寄附・奉仕活動 ありがとうございます

善意銀行へ寄附  
敬老会に出演いただいた、花柳流菊舞会(吉川富子殿)の皆さんから、町善意銀行に対し二万円のご寄附をいただきました。

公明党大洗支部(関根軍次殿)の皆さんは、九月十五日敬老の日恵まれないお年寄りに愛の手をさしめるため、街頭募金を行ないました。二万九千六十円を町善意銀行へ寄附しました。

## 茨城県警察官募集

男子警察官 約三〇〇名  
婦人警察官 約一〇〇名  
健康な諸君、ゆきます。

○いきがいのある職場です。今があなたの実力をためすチャンスです。

○むすこさんを警察官にしてください。やがておとうさんの後継者として、たぐましく、正義感の強いむすこになります。

大学卒(見込)  
昭和22年4月2日・昭和28年4月1日までの生  
昭和22年4月2日・昭和32年4月1日までの生  
問合せ、よりの警察署、派出所、駐在所

## 大洗町長選挙のお知らせ

大洗町選挙管理委員会  
(大洗町役場総務課内)  
電話(7)5111番

大洗町長の任期満了にともなう次回の日程による選挙を行なう予定です。

○選挙期日の告示日 11月10日(日)

○投票日 11月17日(日)

○投票時間 午前7時から午後6時まで

○選挙できる人 昭和29年11月18日以前出生の者で、8月9日以前より当町に住民票が作成され引き続き居住されている者

## 学習意欲に燃える地域青年 青年教室開講さる

大洗町教育委員会主催による昭和四十九年度の大洗町青年教室が去る九月十九日磯浜公民館において開講されました。

この教室は、地域青年の学習意欲の向上と豊かな人間形成の一助とするもので、本年九月より明春三月まで二十回(四十時間)行なうものとす。

## 学習意欲に燃える地域青年 青年教室開講さる

大洗町教育委員会主催による昭和四十九年度の大洗町青年教室が去る九月十九日磯浜公民館において開講されました。

この教室は、地域青年の学習意欲の向上と豊かな人間形成の一助とするもので、本年九月より明春三月まで二十回(四十時間)行なうものとす。